



医療リスクの ヒューマンファクター

①【はじめに】

～近年の医療過誤への関心の高まり～

●横浜市大病院 患者取替え事故

●都立広尾病院 消毒液投与事故

~~絶対にミスを犯さない完全無欠な人格者~~

ミスを全く犯さない完全無欠な人間など、この世には存在しない

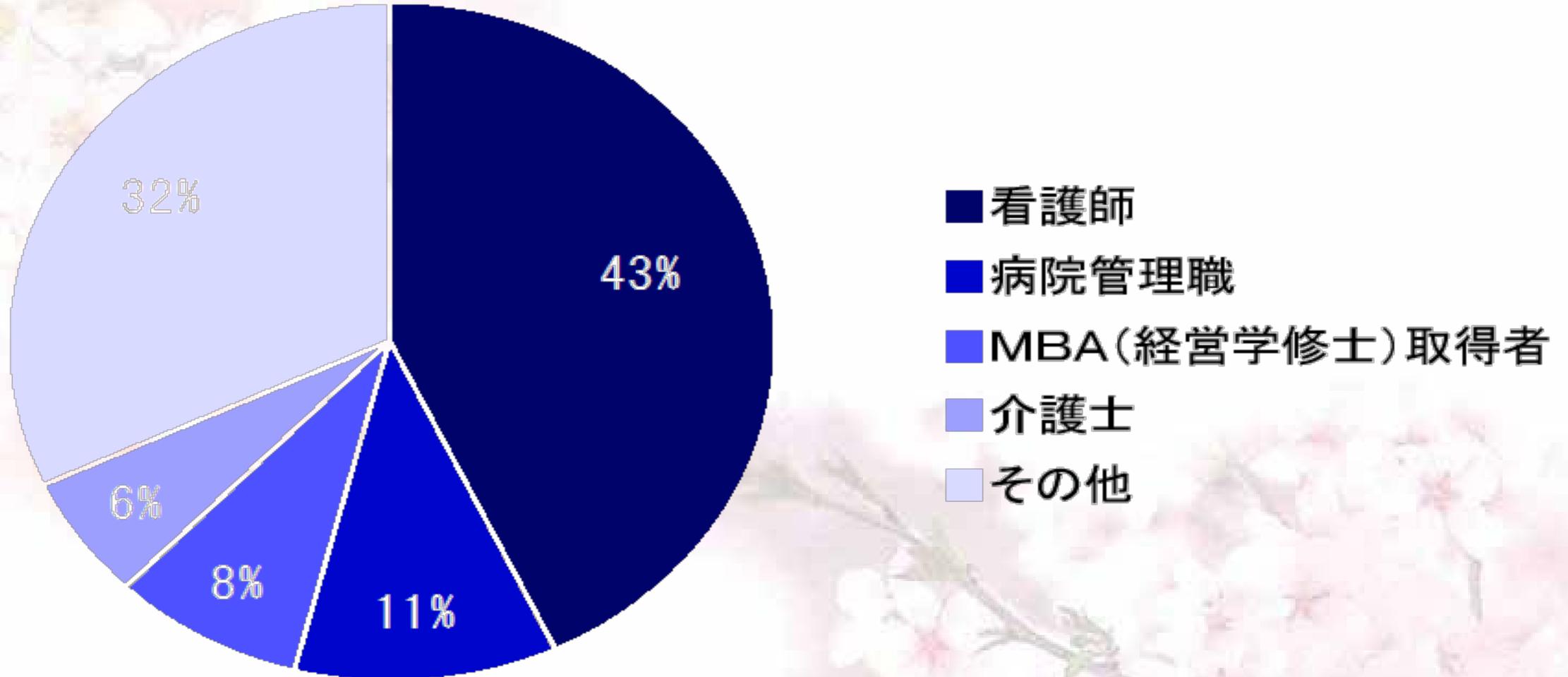
人の「誤りやすさ」を認め、

エラーを個人の問題として捉えているのではなくシステムの問題として捉え、

事故は必ず発生するという前提に立ったシステムの改革・改善

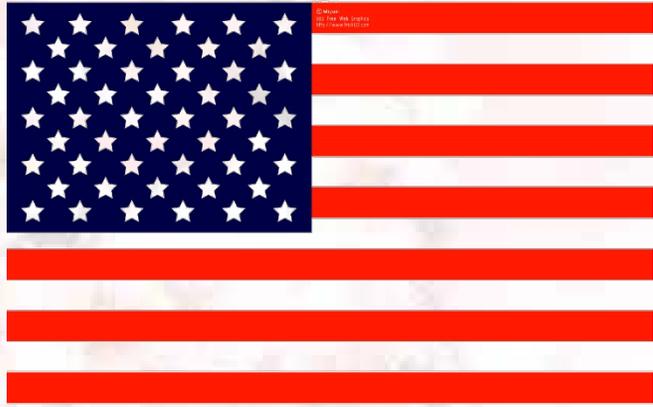
②【リスクマネジメント活動の推進者】

米国の医療機関内で活躍するリスクマネージャー

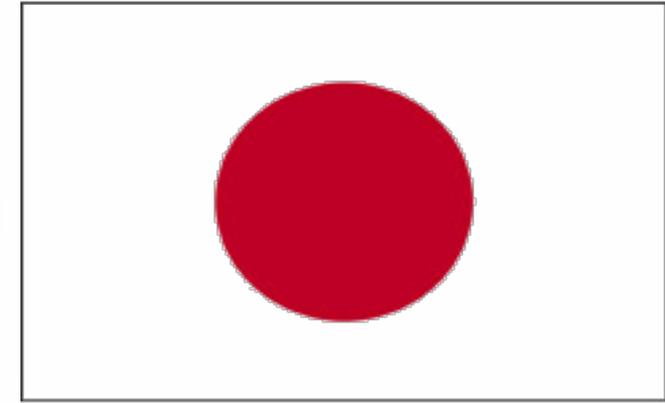


③【リスクマネジメント活動の問題点】

米国と日本のリスクマネジメント



看護師が中心



専門教育を受けている

専門教育は受けていない。
提供もされていない。

具体的な対応・対策

精神的な努力目標で終わってしまう

経営工学の専門家達が果たすべき役割は大きい

④【調査概要】

(1) 調査対象

首都圏の総合病院(ベット数約1000床)の全看護単位(ナース数800名)

(2) 調査期間

3ヶ月間

(3) 調査方法

予め無記名方式の調査用紙を各看護単位(病棟)へ配布し、調査期間中に発生したエラーについてその時の状況を記入していただいた。